

## 講演会

# 日本の難民認定はなぜ少ないのか

## — 審査参与員として感じた問題と圧力 —

**講演者：阿部浩己氏**

**(明治学院大学国際学部教授、元難民審査参与員)**

紛争や迫害、人権侵害などによって故郷を追われ、世界で難民となった人々は2022年半ばに1億300万人を超えました。そのような中、2022年に日本で難民認定を受けた人々は202名で、難民認定率は1.6%に留まっています。世界の主要国と比較をすると、日本の難民認定数は各段に少ない状況ですが、この背景にはいったい何があるのでしょうか。

国際人権法の研究に取り組み、難民審査参与員を10年務めてきた阿部さんに、参与員として関わる中で感じた日本の難民受け入れに関する制度や社会的な問題、そして圧力についてご講演いただきます。また、難民申請を行っている当事者の方からもご自身の状況についてお話しいただく予定です。

多くの方のご参加をお待ちしております。

**5月28日（日） 13：45～15：45**

**神奈川県近代文学館・中会議室**

**定員  
60名**

【申し込み】以下のGoogleフォーム、QRコードから必要事項を入力しお申し込み下さい。どなたでも申し込みできます。参加費500円（当日支払い）  
<https://forms.gle/oK1MgjMA34cihkA36>

【問い合わせ】入管収容問題を考えるソーシャルワーカーネットワーク  
事務局：杉山 (Mail) [mwswnetw@gmail.com](mailto:mwswnetw@gmail.com)  
(TEL) 090-4131-3303



後援団体：日本ソーシャルワーカー協会、国際ソーシャルワーク研究会

賛同団体：NPO法人さーくる横須賀、Geminiオンライン日本語教室、  
BOND～外国人労働者・難民と共に歩む会～